

居心地のよい場所があふれるまちなかへ

“パブリックスペース(公共空間)から、一人ひとりのストーリーが生まれる・広がるまちなかをつくる” –そんなビジョンを掲げたプロジェクトが「プレイスメイキングうつのみや」略して「プレみや」です。宇都宮の中心市街地にもっと居心地よい場所を育てていくことを目指しています。



プレみや
プレイスメイキング
うつのみや

プレみやが描く「プレイス・ビジョン うつのみや」には、まちなかの様々な空間の“こうあったらいい姿”が表現されていて、その姿の実現に向けた取り組みが進行中です!



宇都宮市HPをチェック!!

プレみや だより

増刊号

2024年3月
発行

まちかど広場で集う

中央児童公園で遊ぶ

TOPIC

【プレイスメイキングうつのみや】

居心地のよい場所があふれるまちなかへ

【社会実験】

「あちこちイゴコチみやのまち」
プレみやMONTH2023開催

PLACE 1 まちかど広場

PLACE 2 中央児童公園



「あちこちイゴコチみやのまち」 プレみやMONTH2023開催

まちなかに、もうちょっと腰を落ち着けられる快適な場所があったら？
ちょっとした活動を広場や公園で試せたら？

– そうなったら、まちのあちこちをもっと居心地よく感じられるはず。

「プレみやMONTH2023」では、“あったらいい”みやのまちをつくる実験を、
2023年10月に行いました。実験の舞台は「まちかど広場」と「中央児童公園」。

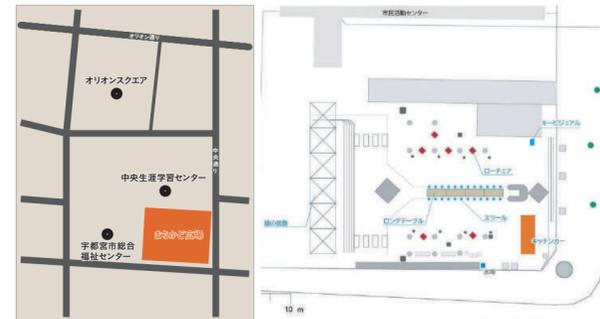
プレみやが掲げるビジョンで注目した場所の中から、最初に小さな活動を試してみ
る場所として選びました。新しいまちなかの風景が生まれた様子をお伝えします！

PLACE1 まちかど広場

シンボルロードの一角に広がる、大谷石が印象的なまちかど広場。まちなかの中心にあるこの空間を、もっと気軽に集い・休める場として、そして公共施設が隣接するメリットを活かした市民活動の発表の場として活用できないかと使い倒した18日間。ロングテーブルやイスなどの座り場、滞在を促すキッチンカー、空間の居心地を高めるまちかどライズ、さらにはちょっとした新しい体験ができるワークショップと、人それぞれが思いのままにくつろげる空間をつくり、憩いの広場としての可能性を探ってみました。

■開催日:2023年10月5日(木)-10月22日(日)

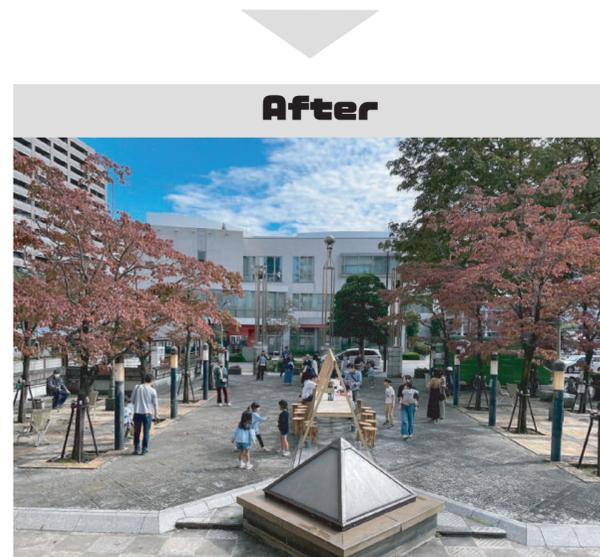
■主催:プレみやMONTHまちかど広場実行委員会
特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構/宇都宮コミュニティFM ミヤラジ/スターアトリエ/コール・クルック/6B会/森富優衣/宇都宮市(中央市民活動センター、道路管理課、NCC推進課)/一般社団法人ソトノバ



まちかど広場の配置図



Before



After

広場で生まれる「豊か日常」のシーン

scene 01 ロングテーブルと滞在スペース



誰でも自由に利用可能な特製テーブル、スツール、ローチェア、芝生スペースを設置。通りがかりでも広場でくつろげるきっかけとして、ボードゲーム、本、Wi-Fiなども用意しました。ロングテーブルで談笑したり、スツールを動かして自分たちの空間をつくったりと、さまざまな使い方が見られました。

scene 02 まちかどライブ 2組・計3日間



市内ミュージシャンによるストリートライブが行われました。広場から流れる音楽に道行く人が足を止め、にぎやかで心地よい雰囲気が生まれました。

scene 02 キッチンカー 5店・計12日間



ランチからカフェタイムにかけて平日を中心に出店があり、まちかど広場に飲食を楽しむシーンが生まれました。ランチタイムだけでなく、ドリンクやスナックなど気軽に利用できるメニューのニーズも高くなりました。

scene 04 まちかどワークショップ 6回



市内の活動団体によるクラフト系のものづくり体験ワークショップや、ダンスパフォーマンス、読み聞かせなどが行われました。

DATA

まちかど広場での活動実施中、アンケートなどで利用状況や反応を調べました。主な結果を紹介します。

①利用内容

「休憩・会話」や「飲食」をはじめとして、さまざまに利用されました。プレみやMONTH期間外にはアクティビティの種類が限られていたのと対照的です。また、一人ではなく友人・知人との利用が増えたのも特徴でした。

②空間・コンテンツに対する評価

くつろげるテーブルやスツールのほか、Wi-Fiやキッチンカーへのニーズが特に多く見られました。

③満足度

全体的に、平常時と比較すると満足度が高くなっています。特に魅力、居心地のよさ、清潔性についての評価が高かったです。また、今後の広場利用に関して、回答の約91%が利用したいとポジティブなものでした。

①利用内容



②空間・コンテンツに対する評価



③満足度



参加者の声

- ちょっとおしゃれでとてもいい試みだと思います。継続的に実施されるのであれば、度々来たいと思います。
- 家族との待ち合わせで利用しました。静かで綺麗で、金木犀の香りがしてとても癒されました。是非、また利用したいので、今後も定期的に続けて頂きたいと思います。
- オリオン通り近辺に休憩できる場所がもっとあると良いですね。
- いろんなキッチンカーが出店して、ランチタイムの憩いの場所になって欲しいです。
- 静かで自然も多く、陽も当たるので昼休みなどでも利用したい。
- 広場に入りやすい雰囲気、案内掲示などがあると良いと思う。雨天時のテーブル利用に工夫が必要かも。

発見!まちかど広場の可能性

アンケートで「また利用したい」とポジティブな回答が約9割あり、まちなかで座って休憩のできる場に対してニーズがあることが明らかになりました。利用の幅や交流の増加が見られたほか、キッチンカーによる出店も一定のポテンシャルがあることが分かりました。

一方で、誰もがより安心して利用しやすいと感じられるような雰囲気づくりが求められることも分かりました。市民活動を公開で行う場としては認知拡大や定着を図る工夫が必要ですが、ポテンシャルがある場所だということも感じられました。

18日間続いた活動によって、広場が過ごしやすくなる可能性とともに、運営の仕組みづくりや安心感の向上といった改良ポイントが見えてきました!

PLACE2 中央児童公園

まちなかにある小さな公園、もっと自由に、クリエイティブな使い方ができるのでは?メディア・アーツ専門学校の隣にある中央児童公園(通称タコ公園)では、そんなアイデアを検証する活動を行いました。

- 開催日:2023年10月21日(土)
- 主催:プレイスメイキングうつのみや公園活用実践クラス
- 協力:中央児童公園愛護会

自由に楽しく!公園の使いこなし

公園を使いこなし、様々なアイデアをテスト!

- ①近所の子どもたちが描いてきたタコで、シンボルツリーがタコまみれ!
- ②ベンチを設置して、もっと公園でくつろいだり、食事や作業をしたり!
- ③公園の雑草をたたきつけるだけで、簡単に染め物が!
- ④時間を忘れて楽しめるアウトドアゲーム、その名はモルック!



普段の中央児童公園

①タコまみれのツリー装飾



②手作りベンチの設置



③雑草を使ったたたき染め体験



④モルック体験



どうやって?公園を使うプロセス

中央児童公園での活動を考え、実行したのは「公園活用実践クラス」に公募で集まったメンバーたちです。公園の隣のメディア・アーツ専門学校や県外の大学・大学院から、学生を中心に15人が集まりました。4回にわたるワークショップを行い、地元の公園愛護会や市の公園管理課との協力で、この公園らしい「あったらいい場所」を形にしていきました。



関係者の声—宇都宮メディア・アーツ専門学校からの参加者

椅子を作る時には学校の先生の木工所をお借りし、1日かけて椅子を作りました。とても大変ではありましたが、お客さんのためにやすりをかけたり、より使いやすくするためにはどうしたら良いか、仕事をしているようでした。自分が書いた図面が完成した時の達成感忘れられません。他のチームが実際にやっている所を見てみたり、自分もやって見たりするのもとても楽しかったです。

クラス1日目



参加者全員で現地訪問

クラス2日目



レクチャーで想像を膨らます

中間発表



愛護会の方に提案を発表

本番前



本番まであと少し...!

発見!公園の可能性

通りから少し見えづらく、普段は静かな中央児童公園でしたが、様々な活動を行うことで子どもだけでなく親や学生など、幅広い年代が楽しく過ごせる場になりました。通りからも何かをやっている雰囲気が感じられ、まちなかの公園が変わることの可能性が垣間見えました。

今回の実験では、普段公園の手入れをする公園愛護会や市の公園管理課と企画内容について相談・協力を図ることで、新しいアイデアを実現できました。小さな公園も連携の仕方次第で、使い方の幅や魅力が生まれることが分かりました。



風船で遊ぶ子ども



人工芝の上で憩う学生

これから注目!まちなかのプレイスメイキング

プレみやMONTH2023で実験した“あったらいい場所”、いかがでしたか?あなたは、まちなかの日常にどんな場所をつくりたいですか?プレイスメイキングはまちで過ごすみなさんのアイデアを少しずつ試しながら、理想のまちに近づけていく取組みです。これからも、それに向けた活動を続けていく予定なので、ぜひプロジェクトページや公式Instagramから最新情報をチェックしてください!

プレイスメイキングうつのみや構成団体

宇都宮市
中心市街地
活性化協議会



発行年月:
2024年3月
発行元:
プレイスメイキングうつのみや
編集・文:
一般社団法人ソトノバ
田村康一郎
日本大学理工学部建築学科
都市計画研究室(泉山ゼミ)
小野寺瑞穂・竹中彩
児玉陽斗・柴田拓馬・本田薫子